

# 第11回 心を育てる地域と世代部会

## 【摘録】



日時：平成25年10月16日(水)18:15~20:15

場所：宮前区役所4階第2会議室

【進行：大槻部会長】

### 1 出席確認

欠席委員：佐藤委員、豊島委員

### 2 前回議事の振り返り

議事録を確認

### 3 今後のスケジュール

次第に基づいて確認

### 4 今回の部会の審議内容

別紙配布資料の最終報告書（案）に基づき、提案のまとめ、記載事項の細かい調整等を行い、別紙のとおり意見集約した。

部会としての討議は今回が最後となるため、当日出された意見については、事務局で反映の上、全体会の前に各委員に送付の上、最終調整を行うこととあした。

### 5 次回以降の会議日程

第7回企画部会 11月6日 18時15分~20時15分 区役所第2会議室

※企画部会メンバーのみ。フォーラムに関する企画がある場合は事前提出

第7回区民会議 11月20日(木)18時15分~20時15分 区役所大会議室

第8回区民会議 2月12日(木)18時00分~19時30分 区役所大会議室

# テーマ：心を育てる地域・世代間交流

## 部会提案について具体的な内容の検討

### 提案 分野A：世代交流に取り組む諸団体へのサポートの実施

#### ■ 世代間交流に資する市民活動への支援実施（「風の泉の九九暗唱支援活動へのサポート）改め）

- 記載内容については、風の泉の関係者にも確認をとる。（事務局）
- 風の泉の支援は第1弾という位置づけになるので、提案名の所では風の泉の団体名は出さない。（平井）
- 学校の地域の連携、地域主体のプログラムなど選ばれた経緯や活動内容をわかりやすく掲載する。（大槻・田浪ほか）
- 他の成功例なども参考に載せられると良い。（山下・岡）

#### ■ 世代間交流を推進するキャンペーンの展開

- 区30周年キャラクター「宮前兄弟」を改めるという誤解される恐れのない記載に変更する。（直本ほか）
- ロゴバッジの配布等、キャンペーンの展開方法をもっと前面に押し出したい。（大槻）
- 広報等の具体化が必要だ。（平井）→市政日より区版特別号発行などを検討している。（事務局）
- 積極的に互いの活動を自慢できる場としたい。（直本）交流の場が重要。（田浪）活動の見学会などはどうか（山下）

### 提案 分野C：世代間の対話につながる新たなプログラムの企画と実践

#### ■ 世代間で交流する対話の場を企画

- 企画の趣旨・前提などを冒頭で、分かりやすく、厚みのある記載を行う。人生の先輩から荒廃への経験を伝える場、話し合いや体験の共有の重視など。目的にも「心を育てる」の記述を盛り込む。（大槻・平井・直本ほか）
- 体験談については、ネガティブなものばかりでないことをアピールしたい。例えば年配者の生活の知恵や地域の歴史文化にまつわる話など。（直本）
- 難しく考えずに趣味やスポーツなど身近なテーマで良いことも伝える。（宮崎）

### 提案 分野D：活動の記録、市制100周年に向けたアーカイブ

#### ■ アーカイブ事業の実施

- 市政100周年だけでなく、区誕生40周年2022年も意識し、記載する。（大槻ほか）
- 市民参加できちんとした記録の収集・保存を継続的に行うには組織の立上げが必要ではないか。（山下）
- インタビューアーが重要になる。情報サポーターズなどに協力いただけると良いと思う（太田ほか）

### 申し送り・経過観察事項

#### ■ 「チャレボラ」で交流会の開催

- チャレボラはあくまで一例なので、提案名には入れない。また内容の解説をわかりやすく記載する。

#### ■ ボランティアコーディネーターの育成

- ボランティアコーディネーターの用語解説を記載する。地域とボランティアのつなぎ手であることをわかりやすく伝える（既存の文章はややこしい）
- シルバー人材センターなど、地域のボランティア支援ニーズも福祉など様々な分野に広がってきている。（山下）

## その他

- 前段部分の記載は背景と課題がうまくつながるように心がける。